



記者発表資料
令和6年10月24日
消防課 消防班
担当：及川、早坂
電話：022-211-2373
syobous@pref.miyagi.lg.jp

宮城県消防団応援アンバサダーによる 消防団のPR活動の実施について

宮城県では、県内消防団のPR及び市町村の消防団員確保の支援を図り、もって地域防災力の充実強化に資するため、本年度、宮城県消防団応援アンバサダー（以下「アンバサダー」という。）を設置したところです。

このたび、下記のとおりアンバサダーが消防団のPR活動を開始することから、報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材していただきますとともに、アンバサダーの活動の様子及び県内消防団の現状を県民の皆様にも周知して下さるようお願いいたします。

記

- 日時 令和6年10月27日（日曜日）
午前10時20分から午前11時20分まで
- 場所 仙台高等専門学校広瀬キャンパス 中庭設置予定屋外ステージ
（〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号）
- 主催 仙台高等専門学校在学のアンバサダー1名
（高専祭2024の機会を捉えたアンバサダーの自主的活動）
- 内容 （1）アンバサダーによる消防団の説明
（2）消防団が使用している資機材や積載車等の展示
（3）質疑応答
- 出席者 アンバサダー、仙台市青葉消防団宮町分団（アンバサダー所属消防団）
（立ち合い 宮城県復興・危機管理部消防課）
- その他 （1）アンバサダー募集チラシ
別紙1のとおり
（2）当日の取材場所等
別紙2のとおり
（3）高専祭2024
<https://www.sendai-nct.ac.jp/20240910-5/>

来たれ! PR 猛者
就活にも役立つ



© 宮城県・旭プロダクション

する方を募集します

PR・活性化

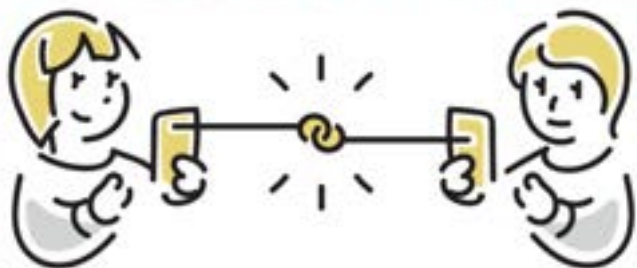
みやぎの消防団



を

宮城県では、県内消防団の認知度向上や活動を多くの県民に知ってもらえるよう、アンバサダーとして、県や市町村の消防団に関する情報発信、活性化をお手伝いいただく方を募集します。

SNSでの拡散、
職場学校での話題



市町村の消防団行事
の立案支援・参加



応募、お問い合わせは裏面を御覧ください。



消防団とは？

- 消防団は、消防本部や消防署と同様にそれぞれの市町村に設置される消防機関で、地域防災力の中核として、様々な活動を行っています。
- 災害発生時には、災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御など様々な現場で活躍しています。



消火・防災訓練



防火指導・啓発活動・
高齢者訪問



応急手当の普及活動



広報活動

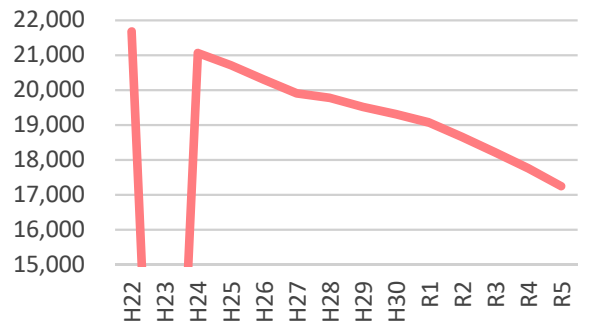


宮城県内の消防団の状況は？

- 県内の消防団員数は年々減少しており、令和5年度は17,245人となっています。震災前の平成22年度と比べて20.5%減少しています。
- 県内の令和5年度の消防団の充足率は83.2%で、全国の充足率よりも低くなっています。
- 県内の消防団員の年齢構成は、全国と比べて若年層が少なく、高齢層が多くなっています。特に、29歳未満は2倍以上、30～39歳では10ポイント以上も全国を下回っています。その反面、50歳以上では10ポイント以上全国を上回っています。

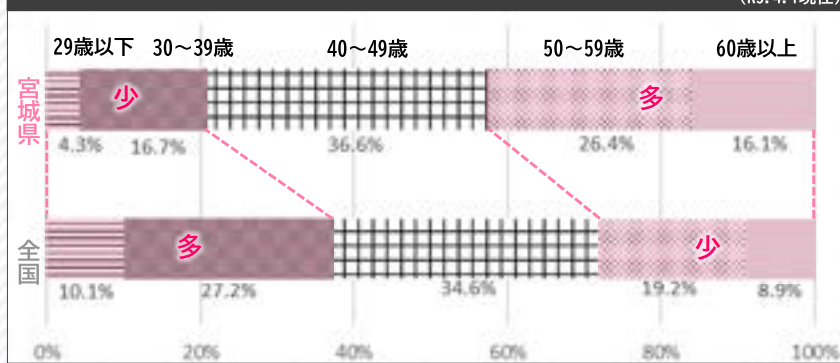
団員数の推移

(各年4.1現在)



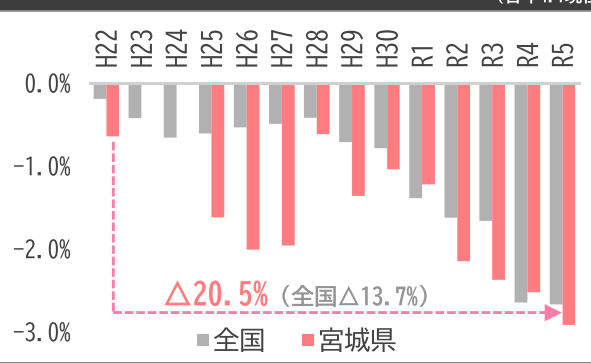
年齢構成 40歳未満が少ない

(R5.4.1現在)



減少状況 宮城県 > 全国

(各年4.1現在)



募集内容

- 募集対象** 主に確保が必要な30代までの若年層と価値観が近い年齢層である学生や若い社会人の方（宮城県内に在住、在勤又は在学の18歳以上の個人）
 - 活動名称** 宮城県消防団応援アンバサダー（任期は2年間。途中で辞退も可能）
 - 活動内容**
 - 県から提供する情報を基に、アンバサダー自身のSNSアカウントや学生・社会人活動を通じて、消防団やその活動について発信していただきます。
 - 市町村の消防団の政策検討過程や事業実施に参加いただきます。
 - 活動は無償とします。
 - アンバサダーとしての活動を終える際には、県から活動認証状を交付します。
- (一定の活動実績が必要。就職活動の自己PRに活用してください)**

お申し込みはQRコード先のサイトからも！



取材場所等

報道機関につきましては、「報道駐車場」（9時30分～14時00分）に駐車可能なほか、「一般駐車場」でも駐車が可能です。

▼広瀬キャンパス構内図

